

コンパクトを革新せよ。

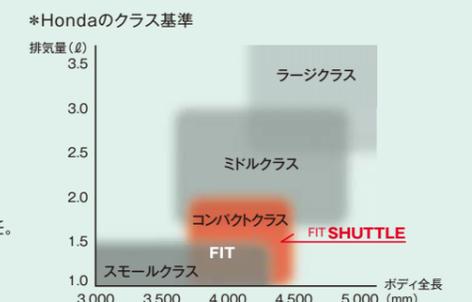
いま、コンパクトカーがあらためて注目されているように感じます。
事実、実用性や環境性能を重視する人が増え、
クルマもより機能的に、より低燃費に進化してきました。
しかし私たちは、暮らしに便利な手軽さや合理性だけがコンパクトカーの要件だとは考えません。
コンパクトカーであっても、暮らしを豊かに広げるクルマを創りたい。
身近な存在だけど使うたびに満足できる、いわば上手に贅沢できるクルマを届けたい。
そんな思いから、今回私たちは「コンパクトカーの革新」にチャレンジしました。
Hondaがスモールクラス*で飛躍的に進化させてきた「フィット」の思想と技術を、
コンパクトクラス*に投入。扱いやすいボディサイズでありながら
従来の常識を超える広さ、使いやすさ、経済性、さらには見て触れる質感や移動の快適性といった
価値を満たした、新しいスタイルのコンパクトカーを完成させました。
私たちHondaの自信作、「フィット シャトル」。
いまの時代に、これからの時代に、積極的に選んでいただける一台であると確信しています。

開発責任者 人見康平



人見 康平 (ひとみ こうへい)
(株)本田技術研究所 主任研究員

1984年、(株)本田技術研究所入社。
ドア、外装まわり設計を経て、
1999年アクティ/バモスのボディ・外装PL、
2002年ザッツのLPL代行、
2004年エリシオンのLPL代行を担当。
2007年フィットのLPLを務め、
2010年フィットMMC/フィット ハイブリッドのLPLを歴任。
今回、引き続きフィット シャトルのLPLを務める。
趣味はドライブ、旅行。
愛車はフィット(07年モデル)2台、S800。



Contents

開発にあたって	2	パッケージング	7	エクステリアデザイン	15	福祉車両	21
コンセプト	3	ユーティリティ	9	インテリアデザイン	17	安全性能	22
テクノロジーダイジェスト	5	パワートレイン	11	シャシー/ボディ	19	環境性能	22
Hondaのハイブリッドカー展開	5	インターナビ	14	快適装備	21	装備・諸元	23